



MARUZEN CHI  
Holdings

# 平成24年1月期第2四半期決算発表 ご説明資料

(当社第2期第2四半期 平成23年2月1日～平成23年7月31日)

平成23年9月14日

丸善CHIホールディングス株式会社

説明者:代表取締役社長 小城 武彦



## 1. 当第2四半期のトピックス

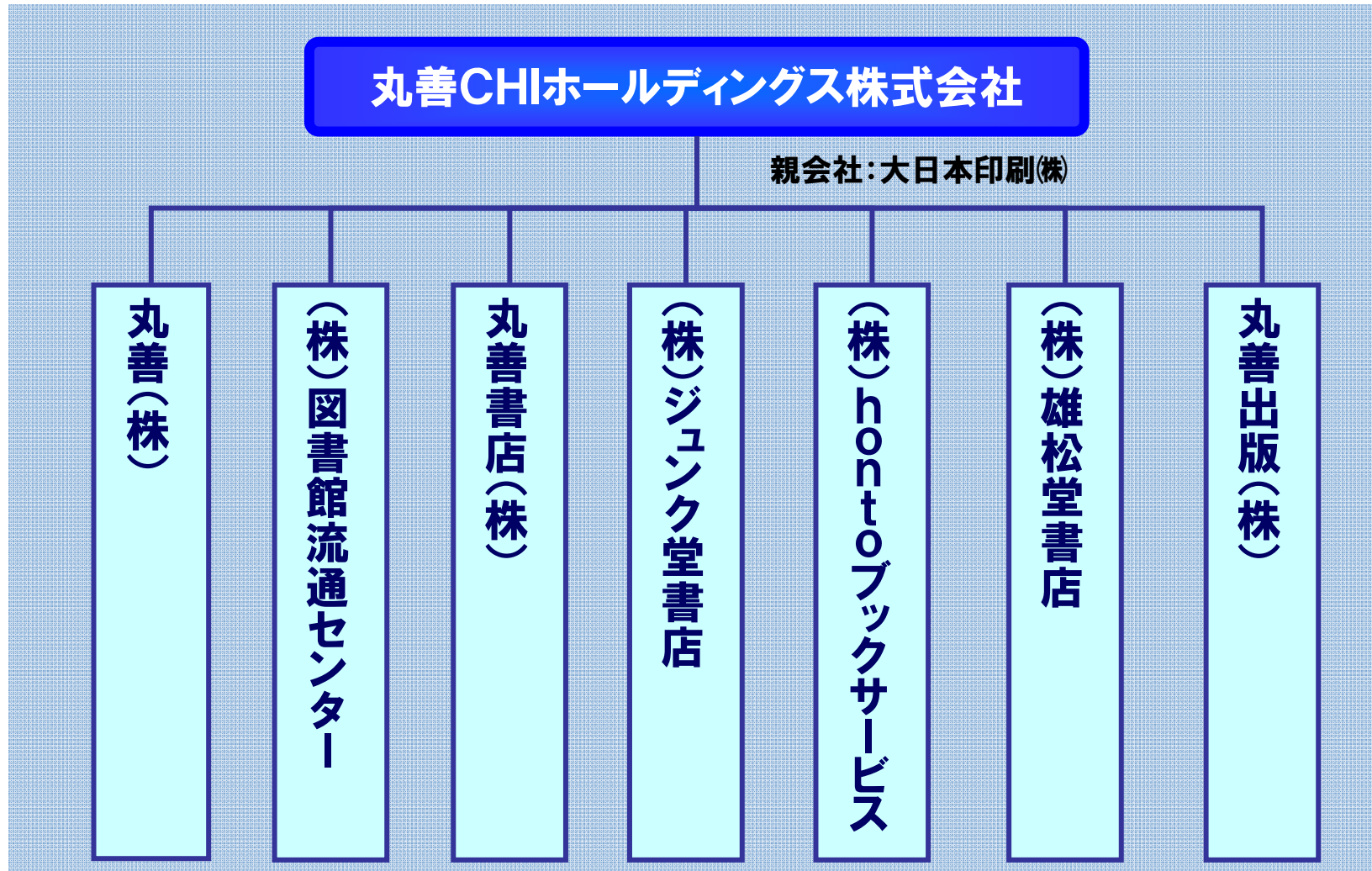
---

- 2月：(株)ジュンク堂書店、(株)雄松堂書店を株式交換の実施により当社の子会社へ。また、丸善(株)の出版事業を分社化した丸善出版(株)を新設、及び丸善(株)の完全子会社であった丸善書店(株)を当社直接の完全子会社とし、当社の事業会社は計7社となる。
- 5月：当社の社名を、当社の事業領域で長年に亘って浸透しているブランド「丸善」を冠することとし、「CHIグループ(株)」から「丸善CHIホールディングス(株)」へ商号変更。

※その他のトピックスについては12～14ページをご参照ください



## 2. 当社の体制図



国内最大の書籍コンテンツ販売グループ



### 3. 当第2四半期業績サマリー(連結)

- 東日本大震災やそれに伴う電力需給の逼迫からの消費への影響が懸念されたが、店舗販売事業においては売上に影響はあったものの、グループとしては想定範囲におさまる。
- 図書館向け事業の好調や、一部計画から売上が先行したことにより計画を上回る業績となった。

(※本年9月9日業績予想修正開示済み)

◆平成23年2月1日～平成23年7月31日

(単位：百万円)

【平成24年1月期】 第2四半期(累計)	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 純利益
当初業績予想値 (6月14日発表)	90,000	0	0	▲400
修正業績予想値 (9月9日発表)	91,700	600	480	▲330
<b>実績(本日発表)</b>	<b>91,711</b>	<b>611</b>	<b>480</b>	<b>▲328</b>
対当初業績予想 増減	1,711	611	480	72
対当初業績予想 比率	101.9%	—	—	—



## 4. 当第2四半期の損益ハイライト(連結)

◆平成23年2月1日～平成23年7月31日

(単位：百万円)

連 結	売 上 高			営 業 利 益		
	当 期	前 期	対 前 比	当 期	前 期	対 前 比
文教市場販売事業	37,951	38,029	99.8%	1,263	2,503	50.5%
店舗・ネット販売事業	41,904	17,550	238.8%	△122	△452	—
図書館サポート事業	6,833	5,852	116.8%	405	324	125.1%
出版事業	2,393	2,485	96.3%	297	277	107.5%
その他事業	2,627	2,452	107.2%	296	281	105.5%
消去又は全社	—	—	—	△1,528	△2,017	—
合 計	91,711	66,370	138.2%	611	915	66.8%



## 5. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位；百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期
売上高	37,951	38,029
営業利益	1,263	2,503

### セグメント事業

- 学術研究や教育向けの、洋書や電子書籍を含む各種出版物、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

- 公共図書館向け図書販売(TRC)では、特需や計画売上が予定より早まったことなどから、対前・計画ともに上回る。
- 大学向け図書販売(丸善)では、書籍販売業務システムの更新トラブルによる受注減少は想定内ではあったが、前期より大きく売上が減少。対応コスト増などもあり利益もダウン。
- 当期より雄松堂書店が当セグメントに加わる。



## 5. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期
売上高	41,904	17,550
営業利益	△122	△452

### セグメント事業

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」及び「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- オンライン書店「ピーケーワン」の運営
- hontoブックサービスによる、オンライン書店の企画開発

- 当期からジュンク堂書店が加わり、対前比では大幅増収
- 2社体制となったことで業務の効率化が進み、前期から赤字幅を圧縮
- しかし、震災の影響による消費マインドの落ち込みや節電対応による輪番出勤などが、とくに大都市圏の大型店舗に影響を及ぼし、これら既存店は売上面で厳しい状況となっている。



## 5. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位；百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期
売上高	6,833	5,852
営業利益	405	324

### セグメント事業

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務及び人材派遣

- 公共図書館、大学図書館ともにほぼ計画通りに推移





## 5. 主要事業 ④出版事業

(単位；百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期
売上高	2,393	2,485
営業利益	297	277

### セグメント事業

#### 《丸善出版(株)の出版事業》

『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行。及びビデオ・DVDの発売。

#### 《(株)雄松堂書店の出版事業》

学術専門書の刊行。

#### 《(株)図書館流通センター子会社 岩崎書店》

絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行。

- マスコミに取り上げられた『いかにして問題をとくか』(丸善出版)が話題となり、大きく増刷。
- ただし、全般には書店向けを中心に、とくに既刊専門書が厳しい状態。
- 当上期より、雄松堂書店の出版事業が加わる。



## 5. 主要事業 ⑤その他事業

(単位；百万円)

第2四半期 〔累計〕	当期	前期
売上高	2,627	2,452
営業利益	296	281

### セグメント事業

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- その他

- 店舗内装事業で、震災の影響から出店計画の見直しや延期をする書店が多く、投資マインドの冷え込みの影響を受けたが、その他の事業において一過性の売上もあり前期並の業績となった。



## 6. 通期予想

- 通期見込については、本日の発表資料の通り、子会社(丸善株)における希望退職制度の実施に伴う特別損失が1,251百万円発生する見込であることから、当期純利益については▲2,400百万円に修正いたします。
- 売上および営業利益・経常利益については、下期売上が計画より先行し上期に計上されたこと、および書店事業、出版事業における市場の厳しさや、設備関連事業では引き続き顧客の投資計画の見直しが想定されることから本年6月14日発表予想値を据え置いております。

(単位：百万円)

【平成24年1月期通期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績当初予想値 (6月14日発表)	174,000	200	100	▲700
業績予想 (9月14日発表)	174,000	200	100	▲2,400



## 7. 来期(平成25年1月期)見通し

### ➤ 図書館事業の順調さ

- 図書館向け事業については、公共図書館向けの事業を中心に順調に推移する見込です。
- また、電子図書館システムの導入など、新規分野へも注力します。

### ➤ 大学向け図書販売の回復

- 丸善(株)における書籍販売業務システムトラブルについては、当上期においては売上に大きな影響を及ぼしましたが、既に収束に向かっており、今後お客さまの信頼をいただけるよう努力し、売上の回復に努めます。

### ➤ 大学向け事業、書店事業でのシナジー効果発揮

- 大学向け事業については、洋書販売における丸善と雄松堂書店との商品力の向上、また大学図書館向け事業におけるTRCと丸善の営業体制の協同化など、シナジー創出を進めます。
- 書店事業では、2社の品揃えの特徴を活かした店づくりのノウハウ共有、業務の共通化によるコスト削減など、体質強化を進めます。

### ➤ コスト削減効果

- 希望退職制度による特別損失については、当期特殊要因であり、来期にはコスト改善効果を見込みます。

⇒ これらにより、平成25年1月期は 最終黒字化を想定しています。



## ご参考:当期のトピックスほか

### ★出店店舗〔ブランド名で表示〕

●MARUZEN&JUNKUDO:	札幌(文具)	4月	1784坪
●MARUZEN :	博多	3月	794坪
	多摩センター	4月	1200坪
	郡山(文具)	5月	199坪
	旭川(文具)	7月	216坪
●JUNKUDO :	旭川(書籍)	6月	1041坪
	仙台TRビル	7月	572坪
	新静岡	10月(予定)	676坪
	甲府	10月(予定)	820坪

### ★電子図書館システム「TRC-DL」をリリース

TRCが推進する電子図書館サービス「**TRC-DL(TRC-Digital Library)**」は、「紙の書籍と電子書籍に対応するハイブリッド型プラットフォーム」で、利用者は、自宅からインターネットを通じて、電子書籍の検索・予約・貸出・返却を行えます。また、紙と電子両方を、検索から貸出・返却まで統合的に管理することが可能となり、図書館業務および利用者の利便性が向上します。



## ご参考:当期のトピックスほか

### ★原子力の影響についての専門知識をネットで無料公開（2011年3月）

東北地方太平洋沖地震による東京電力福島原子力発電所の事故発生に伴い、放射線被害に対する不安が高まる中、丸善出版が月刊物理学雑誌「**パーティ**」に掲載した原子力発電所と放射線防護に関する記事を無料公開。「見えない」「分からない」という放射線に対する不安を少しでも和らげるため、その影響を理解するための正確な情報をより多くに方々に知っていただける機会をご提供させていただきました。

### ★丸善出版の『いかにして問題をとくか』が、メディアに取り上げられ 大きな話題に

丸善出版の『**いかにして問題をとくか**』（昭和29年刊行）は、57年間読者に愛されてきた超ロングセラーですが、昨今の“数学ブームの謎”とした背景から7月にTVで取り上げられたところ、たいへんな好評をいただき、さらに多くの方々にご愛読いただくこととなりました。（7月末～これまでの販売数2万部）やさしい数学を例にとって論理的に説明し、新人の研修や、ビジネスの中でも好評をいただいています。



## ご参考:当期のトピックスほか

---

### ★11月25日 日本橋に『ワールド・アンティーク・ブック・プラザ』をオープン

雄松堂書店が長年に亘り培った商品力とネットワークを活かして、伝統ある丸善日本橋店に、世界11カ国、20以上の古書肆を集めた、洋古書のプラザをオープンします。

国際古書籍商連盟の前会長を総支配人にむかえ、厳選された古典・名著や資産価値の高いアンティークブックの素晴らしさをご紹介します。